

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/06/07		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190587036902	科目番号 / Course code	05870369
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12311_006		
授業科目名 / Course title	教育と社会 (教育相談) / Educational Counseling		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	内野 成美 / Utino Narumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	内野 成美 / Utino Narumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	内野 成美 / Utino Narumi		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教職に関する科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	2年		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	soudan nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後に講義室で受付ける		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	一人ひとりの児童生徒の人格形成および教育指導上の問題について、教育の場を中心に相談をおこない、本人やその親に問題解決のための援助・助言・指導・治療を行うことができる能力を身につける。		
授業到達目標/Course goals	教育相談の意義や役割について説明することができる 実際の場面で、傾聴的に相談者の話を聞き、相談に応じることができる。 相談者の相談内容を整理、分析し、問題解決のための提案を行うことができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	発表の成果物及びその過程での記録 (4 0 %) 授業ごとのレポートおよび小テスト (4 5 %) 授業への参加度・貢献度 (1 5 %) 合計 6 0 % 以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	適宜、伝える。		
キーワード/Keywords	教育相談・生徒理解・支援の段階・カウンセリング		
教科書・教材・参考書/Materials	参考書： 教育相談の理論と実際 河村茂雄 著 図書文化		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	教員免許状習得を目指し、意欲・関心を持って受講する学生を望む。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	授業内容、準備学習等の資料は適宜配布する。		
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y / N) / Instructor(s) with practical experience (Y / N)	Y		

実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	内野 成美 / スクールカウンセラー・スクールカウンセラースーパーバイザー, / いじめ・暴力行為など児童生徒の問題行動、不登校等への対応について, 発達障害等野路同性との個別の支援について等 / 長崎県教育委員会
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	教育相談の意義と役割
第2回	カウンセリングの基本技法
第3回	学校現場の諸問題 (不登校等) への理解
第4回	学校現場の諸問題 (いじめ等) への理解
第5回	学校現場の諸問題 (発達障害等) への理解
第6回	居心地の良い学級づくりのためのアセスメント
第7回	課題を抱える子ども (保護者) のためのカウンセリング技法
第8回	課題解決のための演習 1 (問題の焦点化)
第9回	課題解決のための演習 2 (問題の深化)
第10回	課題解決のための演習 3 (問題とその対応についての発信)
第11回	発表 1
第12回	発表 2
第13回	振り返り 1
第14回	振り返り 2
第15回	危機介入
第16回	総括およびまとめのテスト

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2019/09/30 ~ 2019/11/22		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190587037701	科目番号 / Course code	05870377
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12341_005		
授業科目名 / Course title	教育と社会 (身のまわりの科学) / Science in Daily Life		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	隅田 祥光 / Yoshimitsu Suda, 内野 成美 / Utino Narumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	隅田 祥光 / Yoshimitsu Suda		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	隅田 祥光 / Yoshimitsu Suda		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	geosuda nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部本館413		
担当教員TEL/Tel	2373		
担当教員オフィスアワー/Office hours	平日 7時 ~ 8時30分		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	地球科学と社会の関わり, 人間生活の関わりについて学ぶ.		
授業到達目標/Course goals	地球科学と社会の関わり, 人間生活の関わりについて理解できた.		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて 欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	中間試験, 期末試験, 授業に対する貢献度, レポート		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Keywords	地球科学		
教科書・教材・参考書/Materials	特に無し		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	日本語のヒアリングができること.		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的 障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートにつ いては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい 。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y / N) / Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N		

実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1	ガイダンス
2	アクティブラーニング
3	アクティブラーニング
4	アクティブラーニング
5	アクティブラーニング
6	アクティブラーニング
7	アクティブラーニング
8	アクティブラーニング
9	アクティブラーニング
10	アクティブラーニング
11	プレゼン
12	プレゼン
13	プレゼン
14	プレゼン
15	ふりかえり

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3, 金 / Fri 4
開講期間 / Course duration	2019/11/27 ~ 2020/02/07		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20190587038501	科目番号 / Course code	05870385
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12361_005		
授業科目名 / Course title	教育と社会 (環境と社会) / Environment and Society		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	藤本 登 / Fujimoto Noboru, 内野 成美 / Utino Narumi, 石川 衣紀 / Izumi Ishikawa		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	藤本 登 / Fujimoto Noboru		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	藤本 登 / Fujimoto Noboru, 石川 衣紀 / Izumi Ishikawa		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医学部、歯学部、工学部、環境科学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	藤本 : n-fuji_nagasaki-u.ac.jp 石川 : izumi_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	藤本 : 教育学部美術技術教室棟111室 石川 : 教育学部棟231室		
担当教員TEL/Tel	藤本 : 095-819-2360 石川 : 095-819-2406		
担当教員オフィスアワー/Office hours	在室時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	地球環境問題や教育問題など現代社会が抱える問題について、「共生社会」の構築という視点で個人の有り様を問い直す講義です。なぜ「人間の多様性」を認め合う必要があるのか、どのようにそれを考えていけばいいのか、その視点が自らにあるか、個人の価値観のみならず、社会的な意志決定の方法や課題を認識することで、追求します。		
授業到達目標/Course goals	多様な価値観の存在を認識し、互いを認め合う視点や共生社会の実現のあり方について考察し、それらの実現にたいする自らの態度や関心について省察できる。また、環境やエネルギー問題に対して、自ら課題を認識し、社会で変革するための手法を説明できる。その変革に関わるための態度や実践力を養い、持続可能な社会作りに貢献するための自身の役割を説明できる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	各課題の評価 (50%) 最終レポート・発表 (30%) 講義におけるディスカッション等での貢献度 (20%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	関連するニュース記事を収集し、分析しておくこと。各自の光熱水量データなど自宅や事業者に問い合わせが必要になるものもありますので、講義やLACSの指示に注意してください。		
キーワード/Keywords	共生社会、多様性、インクルーシブ教育、自己理解・他者理解、ユニバーサルデザイン、バリアフリー、環境問題 (地球温暖化、廃棄物問題、水問題など)、エネルギー問題 (電源選択、高レベル放射性廃棄物処理など)、ガバナンス、価値観、意志決定		
教科書・教材・参考書/Materials	参考書 : 遠藤まめた『先生のためのLGBTガイドブック』(合同出版、2016)、宮島喬『外国人の子どもの教育 : 就学の現状と教育を受ける権利』(東京大学出版会、2014)、阿部彩『子どもの貧困? 日本の不公平を考える』(岩波新書、2008)、青山新吾他『インクルーシブ教育ってどんな教育?』(学事出版、2016)、内閣府『障害者白書』他 参考書 : 環境白書、エネルギー白書、刀根薫「ゲーム感覚意思決定法 AHP入門」など、講義資料はLACSに掲載します。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites	環境問題やエネルギー問題に強い関心を持つ学生で、積極的に議論に参加できること。(グループ・全体での討論が多いことを事前に認識しておいて下さい)		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks（URL）	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	Y
実務家教員名/実務経験内容/実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course	藤本 登/工学部助手等で、実験装置の設計、製作、測定。北九州市立科学館等でロボット教室の講師。企業等の指導・共同研究。/シラバスの機構及び制御に関する内容について、学校現場の状況、子どもの理解度、教材化及び実用化に関する具体的な例示と演示/
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1回目	オリエンテーション（目的、学習方法、ルールなど）、アイスブレイキング（グループ決め、認知確認など） 担当：藤本
2回目	外国にルーツをもつ子どもたちと教育・社会 担当：石川
3回目	セクシャル・マイノリティーと教育・社会 担当：石川
4回目	子どもの貧困と教育・社会 担当：石川
5回目	特別ニーズと教育・社会(1)（障害と自分の関係、特別ニーズとは何か） 担当：石川
6回目	特別ニーズと教育・社会(2)（共生社会と相互理解） 担当：石川
7回目	多様性を認めあう社会の実現に向けて 担当：石川
8回目	環境問題と私たちの暮らし 担当：藤本
9回目	持続可能な社会を目指して!?(エコロジカル・フットプリントから考える) 担当：藤本
10回目	持続可能な社会を目指して!?(解決手段の検討) 担当：藤本
11回目	地球温暖化とエネルギー問題 担当：藤本
12回目	私たちの暮らしを支える電気 担当：藤本
13回目	電気のごみを考える(1)（高レベル放射性廃棄物など） 担当：藤本（NUMOから外部講師を呼ぶ予定）
14回目	電気のごみを考える(2)（高レベル放射性廃棄物の処分方法・処分地選定の合意形成） 担当：藤本（NUMOから外部講師を呼ぶ予定）
15回目	課題発表と総合討論 担当：藤本